

○議長（杉田雅史君） 7番 前原英石君。

○7番（前原英石君） 皆さん、おはようございます。7番前原です。よろしくお願いいたします。

2005年から4期16年にわたり舟橋村長を務めてこられました前金森村長ですが、11月29日に逝去されました。この場に立っておりますと、ここで質問に対して真摯に答弁を行っておられた金森さんの姿が思い浮かびます。議会初日には全員で黙禱をささげましたが、ここで改めて前金森村長のご冥福を心からお祈り申し上げます。

今年も残すところ2週間ほどになりましたが、この1年はコロナに始まり、コロナで閉じようとしている、そんな思いがしております。この場でもワクチン接種についてや感染対策、感染予防など、数多くのコロナに関する予算や施策が議決されてきました。一日も早いコロナ終息を願って、今議会の質問を行います。

まず最初に、消防団員の処遇改善と組織強化についてお聞きします。

消防団は地域の消防防災体制の中核的役割を果たす存在であります。全国的には消防団員は2年連続で1万人以上減少しているという危機的な状況であり、今後数年間で80万人を割り込むおそれもある憂慮すべき事態となっていると言われております。

舟橋村消防団においての舟橋村消防団条例では定数35名であります。現在の実団員数は30名。内訳は正規団員19名、機能別団員11名。この機能別団員の内訳は、OB団員が5名、役場団員は6名であると聞いています。いずれにしても、条例で示されている35名には程遠い団員数であります。

消防庁では、このまま団員数の減少に歯止めがかからず、地域防災力が低下し、ついでには地域住民の生命・身体・財産の保護に支障を来すという、これまで以上の危機感の下、講ずべき対策を検討するため、消防団員の処遇等に関する検討会が開かれておりますが、舟橋村では、今後の報酬や、出動、警戒、訓練などの手当やその他処遇などについては今後どのように改善を行っていくのかお聞きします。

また、近年の大規模災害の頻発により、地域防災の中核を担う消防団の重要性がますます高まっています。しかし、一方では高齢化などを背景に消防団員数は年々減少しており、いかに消防団員を確保するかが切実な課題となっております。

災害時に団員がマイカーを使用するケースも多く、令和元年に発生した東日本台風では、団員の車両57台が水没する被害が起こり、十分な補償を受けられないケースも発生し、活動自体を不安視する声もあります。新団員の確保にも、影響を及ぼしかねませ

ん。

そのようなことから、総務省消防庁としても、消防団員の活動環境の整備のための制度構築も行っていますが、舟橋村として、消防団員がマイカー出動した際の共済、保険等についてどのように考えているのかお聞きします。

今後、処遇改善を進めていかれる上で、消防団員として、これまで以上に安心して入団してもらえるような処遇づくりが、消防防災体制強化と、消防活動に従事していただいている本人はもちろん、家族に対しての安心にもつながるものと考えます。

最後に、これまでも女性団員について言われていましたが、一向に進んでおりません。処遇改善と同時に、広報、啓発、団員募集などを中心に行うような女性団員の確保にも取り組んでいただきたいと思います。考えをお聞かせください。

それでは、2点目の質問を行います。質問は舟橋村管内道路実態調査について行います。

令和3年7月に1回目の舟橋村管内道路実態調査の有識者会議が行われ、村道112路線、農道11路線について調査を行い、現況の道路を把握し、道路改良の必要な路線の抽出を行うと説明があり、調査が始められました。

そして、その結果を11月11日に行われた2回目の舟橋村管内道路実態調査の有識者会議で報告されました。報告では、11路線について部分改良の必要な道路があるという評価結果となったと説明がございました。

また、現地調査及び貸与資料での確認により、村道への承認が必要であると思われる路線（1路線）についても、村道等への承認が必要と提案されました。

村道承認が必要と言われている道路については、何年も前から自治会要望や全員協議会でも要望し続けてきており、当局も十分に把握をしておられる路線であると思っております。

要望の理由についても、今回の調査結果と同様に、路線沿線に人家が建設されている。村道ではないが、生活道路のため除雪対象道路となっている。人家が建設されているが、消防活動に必要な道路幅が確保されていないなどの理由で要望を続けてきておりました。

高齢者の方も住んでおられ、今後緊急車両の要請なども考えられるので、早急に村道承認と拡幅をお願いしたいと考えます。

今回の実態調査で、特に重要な路線であると認識しておりますが、調査結果を真摯に

受け止めていただき、早急に着手をお願いしたいと考えます。ご答弁をお願いいたします。

これで質問は終わります。ありがとうございました。

○議長（杉田雅史君） 総務課長 松本良樹君。

○総務課長（松本良樹君） 7番前原議員さんの消防団員の処遇改善等についてのご質問にお答えいたします。

議員さんご指摘のとおり、消防団は地域防災体制の中核的役割を果たす存在ですが、団員数が年々減少しているのが全国的な現状でございます。また、当村におきましても、ご指摘のとおり、定数35名に対し、実員30名という状況でございます。

団員の報酬等の見直しにつきましては、令和3年4月13日付消防庁長官発出の文書にある基準を満たす額に改定する予定としておりますが、東部消防組合において対応を一律にそろえたいというふうに考えておりました。現在、構成市町と協議を進めておるところであります。

年額報酬につきましては、消防庁が基準としている団員階級で年額3万6,500円を既に満たしております。ですので、今回、改定は行わない予定であります。

現在1回当たり1,700円としている出動手当については、消防庁が基準としている1日当たり8,000円に改定したいというふうに考えており、令和4年度当初予算に要求をしておりますが、十分精査いたしまして、これにつきましても、東部消防管内で統一したものでいきたいというふうに考えておりますので、また協議をした上で3月議会に条例改正案を提出させていただきたいと考えております。

次に、団員がマイカーを使用して活動している際に生じた損害を補償する保険についてお答えします。

ご指摘のとおり、全国的には、団員がマイカーを使用し活動している際に水害等の被害に遭うといった事例が発生したことで、令和2年4月から消防庁が制度を設けてまいったマイカー共済制度というものがございます。本制度を活用することで、より安心して団活動を行いやすくなるものと思われませんが、本村消防団は、屯所に集合し、複数名で消防車に乗車して団活動に従事していただくことを原則としております。地域防災の中核となる団員さんにおいても、有事の際には、まずは自分の安全を確保することが重要だと考えております。

マイカー出動した際の共済への加入については、現在、県内他市町ではまだ加入の実

績はございませんけれども、今後他市町の動向等も注視しながら、引き続き検討してまいりたいというふうに考えております。

最後に、女性団員についてでございます。

これまで、女性の力を生かして火災予防や地域防災等の広報や啓発を中心に活動していただきたく、入団についてお声がけをさせていただきました。前向きなご意見をお持ちの方もいらっしゃいましたが、いずれも入団には至っておらないのが実情でございます。

一方で、防災士においては、本年度新たに資格を取得した女性もいらっしゃいます。本村における防災意識の向上については、少しずつではありますが、成果が出ているのではないかと考えております。

ご承知のとおり、本村には、新たに宅地が開発されまして、村に居住された比較的若い世代の方も多くいらっしゃる。そのような地区を中心に、今後、団及び団事務局が共同で戸別訪問するなどし、消防団に対する理解と新規入団の協力を求める活動を行うなど、団員の処遇改善と併せて団員及び女性団員の新規入団に向けた取組を進めてまいりたいというふうに考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げまして、答弁といたします。

○議長（杉田雅史君） 生活環境課長 田中 勝君。

○生活環境課長（田中 勝君） 7番前原議員の舟橋村管内道路実態調査についてのご質問にお答えいたします。

本年、村の管理する村道及び一定要件を満たす農道について、道路安全施設や消雪施設の設置状況及び幅員や路面状況など、客観的な面から調査を実施し、その評価点に基づき道路改良の必要な路線の抽出を行いました。

その結果につきましては、11月11日に第2回目の有識者会議で報告させていただき、調査結果について有識者の方々からの意見をいただき、現在、最終的な報告書の作成を行っているところであります。

今回の調査では、さきに述べた村道や農道のほかにも、村道ではないものの、議員ご指摘の人家が隣接する生活道路であり、除雪対象となっている路線も調査対象とするよう委員の方々からの提案もあり、調査の結果、1路線について村道への承認を行い、緊急車両の安全な通行を確保するための改良が必要であるとの結果が出ました。

また、今回の調査で、合計12の路線について部分的な改良が必要であるとの評価結

果が得られたことで、今後この調査結果を踏まえ、特に優先順位が高い路線を中心に村道の長期的な改良計画を策定し、村道への認定が必要な路線については村道認定手続を進めるほか、国庫補助や記載などの財源措置を検討しながら道路の改良を進めてまいりたいと思いますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（杉田雅史君） 前原英石君。

○7番（前原英石君） 再質問をいたします。

最初の消防団員の処遇改善と組織強化についてであります。この質問は当初、村長に対しての答弁をお願いしておったわけでございます。

その理由といたしましては、古越村長は消防団長も経験をしておられまして、消防団の実情を誰よりも知っておられるのかなと思った意味で村長とさせていただきましたが、今回、総務課長からの説明ということでございますが、村長からも当時の経験、団員の状況、団員数など、考えをもし持っておられれば、ご意見を聞きたいなというふうに思いますし、消防団員についても、広報等で継続的に団員募集をしていくなり、また大会等の訓練があるときなどには、やっぱり皆さんに見ていただいて、関心を持っていただくなどいろんな手法があると思いますが、その点についてはどのように思っておられるのか、村長の口からお聞きしたいと思います。よろしくお願いいたします。

2点目であります。先ほどの道路1路線、農道1路線につきましては竹内の道路でありまして、昨日、万雑割の会合がありまして、今日私が言いました同じ話が出ておりまして、早急に何とかしてやってもらえないかと。

これからまた雪が降るわけで、その除雪に関しても危険な状態、現場を見てもらえれば分かると思いますし、現場を知っておられる方はもっとよく分かると思いますが、除雪についても作業が危険な状態であるというふうに認識をしております。

また、考えるというような話をしておられましたが、極力住民に説明をしていただくのが一番かと思っておりますので、経過等につきましては随時知らせていただければありがたいと思いますが、どのようにお考えでしょうかお聞きします。

○議長（杉田雅史君） 村長 古越邦男君。

○村長（古越邦男君） 先日、団長さんと話しする機会がございまして、数名の方が入団してもいいよというお話も伺っております。ぜひ入団していただければというふうにも大変期待しているところでございます。

消防団は要であるということは前々から私も申し上げているところでございますの

で、ぜひとも住民の生命、財産を守るという意味からしても、これからも団と一緒に
なって団員の確保に努めると。それと同時に、団員の処遇についても、うまく団員になっ
ていただけるように、改善していくように努めていくようにしていきたいというふうに
思っております。

それと、道路改良につきましては、道路認定から始まるというふうに思っております
ので、それらにつきましても、これから十分に地区にお知らせをいたしまして、順次道
路改良を進めていくということをやってまいりたいと思っておりますので、また地区の
方にお伝えいただければというふうに思いますので、よろしく願いをいたします。

以上、答弁とさせていただきます。